

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	社会資本整備総合 交付金事業(河川事業)		路線又は箇所名等		二級河川一宮川水系 一宮川		
事業所管課		河川整備課		事業主体		千葉県			
事業化 年度	平成 23年度	用地着手 年度	平成 26年度	工事着手 年度	平成 26年度	再評価の 理由	再評価		
費用便益比 B/C	1.4 (1.9)	総費用 (現在価値)	76億円 (56億円)	総便益 (現在価値)	110億円 (108億円)	基準年	平成 27年度	供用開始 年度	平成 31年度

※上段：全体事業 下段()：残事業

【事業概要】

(目的)

二級河川一宮川水系一宮川は東北地方太平洋沖地震により発生した津波により、河口部付近で浸水被害を受けた。このため、海岸事業で実施する津波対策と一体となった河川津波対策事業として堤防かさ上げを実施し、再度災害の防止を図るものである。

(主な実施内容)

延長 2.5km

堤防かさ上げ 4.3km 地盤改良 3.0km 開口部対策(橋梁) 2箇所

開口部対策(樋門) 14箇所

【事業の進捗状況】(H27年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	73.3	18.2	55.1	24.8

【社会経済情勢等】

① 状況

東北地方太平洋沖地震による津波被害の大きかった地域では、震災からの早期復興を図る必要がある。

また、当事業区間は、海岸部の砂丘背後の低平地に宅地、事業所、農地等、人命・資産が集中しており地域住民からの津波対策の要望も強い。

② 主な水害状況

- ・平成23年3月11日(東北地方太平洋沖地震)
建物半壊17棟 浸水家屋数58棟(一宮町)

③ 投資効果

- ・浸水面積 324ha[291ha] ・浸水戸数 579戸[574戸] (裸書：全体事業、[]：残事業)

④ その他

- ・「千葉東沿岸海岸保全基本計画」の変更 H25.11.29
- ・「九十九里浜津波対策促進期成同盟会」の発足 H26.2.14
- ・二級河川一宮川水系河川整備基本方針 H27.6.3
- ・二級河川一宮川水系河川整備計画策定 H27.8.7

【対応方針(案)】

一宮川河川津波対策事業は、残事業・全体事業ともB/Cが1を超えており、事業の投資効果が見込まれる。また、東北地方太平洋沖地震では、被害を受けており、背後に低平地が広がることから津波対策に対する要望があり、事業の早期完成が望まれることから、事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

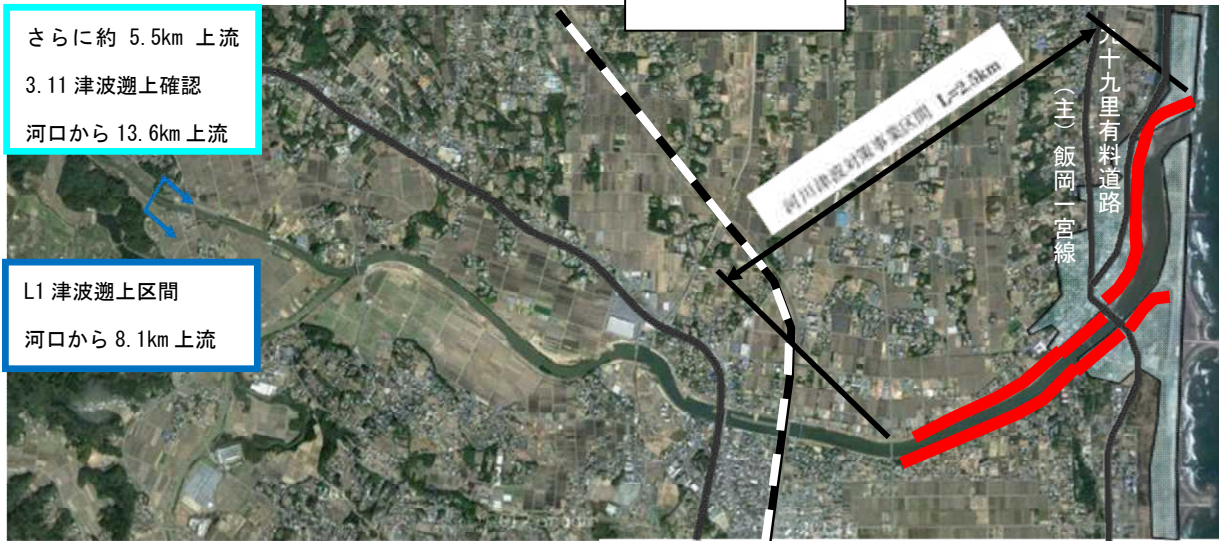
事業概要図

番号	4	事業名	社会資本整備総合 交付金事業（河川事業）	路線又は 箇所名等	二級河川一宮川水系 一宮川
----	---	-----	-------------------------	--------------	------------------

事業位置図



事業平面図



標準横断面図

